

第25回 日本太鼓 全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

2023年 **10月1日**(日)

文京シビックホール
大ホール



主催:  **日本太鼓財団**
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催: 社会福祉法人 **富岳会**

主管: 関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部

協賛: Supported by  **日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION**

後援: 厚生労働省、文化庁、東京都教育委員会、文京区、文京区教育委員会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、
社会福祉法人文京区社会福祉協議会

※会場での撮影・録画は一切ご遠慮願います。

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤 和彦



本日は、第25回日本太鼓全国障害者大会にご来場賜り、誠にありがとうございます。

公益財団法人 日本太鼓財団では、現在42都道府県に46支部を設立し、加盟団体数約670団体、会員総数約18,000人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無に関わらず、国籍を問わずますます多くの方に愛好されております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、健常者のみならず障害のある方の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人 富岳会においては、40年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出場機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として実施しております。このような中、第25回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことであります。出場される団体の皆さまには日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びポートルース関係者、また本大会にご支援ご協力をいただきました厚生労働省、文化庁、東京都教育委員会、文京区、文京区教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、社会福祉法人文京区社会福祉協議会をはじめとする関係各位、共催の社会福祉法人富岳会、そして主管団体の関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ご祝辞

文京区長
成澤 廣修



このたび、第25回日本太鼓全国障害者大会が、ここ文京区におきまして5年ぶりに開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しく下さいました皆様を心から歓迎いたします。

長い歴史に刻まれた日本太鼓は、古来より神事や祭礼において重要な役割を担っており、現在でも世代を超えて愛される伝統芸能の一つであります。華麗なばちさばきや迫力ある演奏は、日本国内だけでなく世界からも注目されています。

日本太鼓の演奏は、全国各地で音楽療法の一環として行われており、全身でリズムを刻むことでの体力づくりや団体演奏によるチームワークの醸成など、心身の育成に有効なだけでなく、障害のある方々の日常生活を豊かにするとともに、社会参加の促進に資するものでございます。

本区では、ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンの理念のもと、障害のある人もない人も地域で暮らし、つながり、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。本日、全国各地の太鼓チームが集まり奏でる太鼓の音は、その取り組みの推進に、大きく響くものと考えております。

皆様には、練習の成果を存分に発揮して、お互いに交流を深めていただくとともに、皆様の心にも大きく響く一日となることを願っております。

結びに、本大会の開催に当たりご尽力いただきました公益財団法人 日本太鼓財団、社会福祉法人 富岳会をはじめとした関係者の皆様に、心より感謝と敬意を申し上げますとともに、本大会の成功と本日ご参加いただいております全ての皆様の今後益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

社会福祉法人 富岳会
理事長 山内 剛



本日、ここに記念すべき第25回日本太鼓全国障害者大会が開催されますこと心より御礼申し上げます。また主催であります公益財団法人 日本太鼓財団並びに協賛をいただきます日本財団、そしてご後援をいただきました多くの団体のみなさまのご協力に深く感謝申し上げます。

今年四半世紀を迎えます日本太鼓全国障害者大会。まさかこの大会がここまでの歴史を刻む大会になるとは夢にも思っておりませんでした。第1回は静岡市にありますコンベンション・アーツセンター・グランシップでの開催でありました。しかしその前年に富岳会が拠点を置く御殿場市民会館で開催していることを知る人はあまりおりません。当時はバックアップしていただける団体もなく、富岳会の職員が御殿場市内の企業や商店をまわり協賛金を募り、集まった僅かな資金と、私たちの趣旨にご賛同いただける10団体にも満たない太鼓チームの参加での開催でした。

その大会を視察に来られた日本太鼓財団前理事長の塩見和子氏の「この素晴らしい大会を絶やしてはいけない」との一声によって、日本太鼓財団の事業として正式に取り上げられ現在に至っているのです。生みの親が富岳会ならば育ての親は日本太鼓財団と言えるのがこの大会です。そしてこの大会をきっかけに障害のある人たちの太鼓活動が広がり、多くの団体に「日本太鼓障害者大会の舞台に立ちたい」という目標を与える大会となりました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに、障害者のスポーツに関する活動だけでなく、障害者の文化芸術活動をバックアップするための、「障害者による文化芸術に関する法律」が、2018年6月7日に国会で可決され5年目となります。基本理念の一つに「地域において、障害者が想像する文化芸術の作品等の発表、障害者による文化芸術活動を通じた交流等を促すことにより、住民が豊かに暮らすことのできる住みよい地域社会の実現に寄与する」と謳われています。まさにこの日本太鼓全国障害者大会が25年前から取り組んできた理念と同じです。この大会は今後ますます注目されるに違いありません。

障害は一つの個性です。彼らは一人ひとり無限の可能性を秘めています。只今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。無心に太鼓を打ち込む姿は、観る人、聴く人に計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれるでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

本日はご来場誠にありがとうございました。

ご挨拶

関八州太鼓連合
会長 湯澤 元一



「第25回日本太鼓全国障害者大会」が東京で開催できますことを関八州太鼓連合・日本太鼓財団東京都支部として感謝申し上げます。

また、この大会を開催するにあたりご支援、ご協力頂きました公益財団法人 日本太鼓財団様、日本財団様、並びに関係者各位、関係諸団体の皆様に心より御礼申し上げます。

本日はこの日本太鼓全国障害者大会に全国から21団体の皆さんが会場にいらします。

本大会は障害のある方達が太鼓で活躍する姿を通じて多くの皆さんに共感を与え、ともに、勇気と感動を与え日本太鼓全国障害者大会の魅力を伝えることができる大会になるものと確信しております。

私も障害者の方達に太鼓を指導することがありますが、毎回皆さんは元気に明るくスタジオにいらして思う存分心の底から太鼓を楽しんでくれます。人は日々の生活の中で色々な出来事があり、良い事、悪い事、嬉しい事、悲しい事、たくさんの感情とともに過ごしています。そんな中、レッスンに来る彼らはいつも大きな声で「おはようございます!」「よろしくお願ひします!」と最高の笑顔でやってきます。

「レッスンが楽しみで早く太鼓を打ちたいから毎日のお仕事がんばってます。」

「あと何日寝れば太鼓のレッスんだからと思って学校でお勉強頑張りました。」など、彼らがどれだけ太鼓が好きか、どれだけレッスンのある日が待ち遠しく思っているのかがとてもよく分かります。

彼らの太鼓を演奏する姿は練習の成果をはるかに上回るとても素晴らしい舞台にしてくれることと期待しております。

最後になりますが、会場にお越しくださいました皆様に本日の演奏が明日からの活力となりますことを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

第25回日本太鼓全国障害者大会プログラム
心に響け「ドンドン」フェスティバル

■ 開会式

■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)・・・ 7
Fugaku Taiko “Ryujin-kumi” from Shizuoka
2. 岩淵組 (東京都)・・・ 8
Iwabuchi-kumi from Tokyo
3. やまびこ太鼓 (福島県)・・・ 9
Yamabiko Taiko from Fukushima
4. なごみ太鼓喜楽 (静岡県)・・・ 10
Nagomi Taiko “Kiraku” from Shizuoka
5. 社会福祉法人 同朋福祉会 同朋太鼓 (山口県)・・・ 11
Doho Taiko from Yamaguchi
6. 和太鼓パフォーマンス集団『夢ん鼓』 (東京都)・・・ 12
Taiko Performance Group “Yumenko” from Tokyo
7. 石川県立 明和特別支援学校 龍剣太鼓 OB 会 (石川県)・・・ 13
Meiwa Special Support School “Ryuken Taiko” Graduates from Ishikawa
8. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 (大阪府)・・・ 14
Toyonaka Deaf Taiko Club “Kobiki” from Osaka
9. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム (静岡県)・・・ 15
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka
10. DRUM 輪 (和歌山県)・・・ 16
DRUM Rin from Wakayama



11. 伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓 (静岡県)・・・ 17
Izu Medical Welfare Center “Dontsuku” and “Yawara Taiko” from Shizuoka
12. 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会 (新潟県)・・・ 18
Niigata Deaf Taiko Group Bandai Taiko “Horyu-kai” from Niigata
13. 縄樂座 (千葉県)・・・ 19
Jorakuza from Chiba
14. 大分県社会福祉事業団大分県糸口学園 (大分県)・・・ 20
Itoguchi Gakuen from Oita
15. ファミリーユニット童鼓 (岐阜県)・・・ 21
Family Unit “Dokko” from Gifu
16. 上州ろう太鼓・心響 (群馬県)・・・ 22
Joshu Deaf Taiko Group Shinkyō from Gunma
17. 徳島県立国府支援学校 和太鼓部 (徳島県)・・・ 23
Kokufu Special School Taiko Club from Tokushima
18. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨県)・・・ 24
Kai-no-Wadaiko “Shinkyō-kai” from Yamanashi
19. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)・・・ 25
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka
20. 恵那のまつり太鼓 (岐阜県)・・・ 26
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu
21. 大江戸助六流 東京ろう者 和太鼓倶楽部「鼓友会」 (東京都)・・・ 27
Tokyo Deaf Taiko Club “Koyu-kai” from Tokyo

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けてください。
- マスクの着用はお客様の判断におまかせしますが、咳エチケットにはご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症対策については文京シビックホールの取り組みに準拠しております。取り組みについては以下のサイトからご確認いただけます。
<https://www.b-academy.jp/hall/post-6.html>

1

ふ がく だい こ りゅう じん ぐみ
富岳太鼓 竜神組

静岡県

演奏曲：富士の雷舞



1977年に知的に障害のある方々のセラピーとして和太鼓に着目したことから始まりました。障害者のリハビリテーションや社会自立トレーニングとしてはもちろんのこと、障害者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目されています。

演奏曲「富士の雷舞」は、春先から夏にかけて起こる想像を絶する富士山の雷のすごさをモチーフにしています。豪雨とともに落雷は突然襲い掛かり、巨木を裂き、雷鳴は遠くの四方の山々を轟かせ、大地を揺るがします。縦と斜めに配置した三つの太鼓を駆使して雷が雲の上で荒れ狂う姿を表現します。

6つの大太鼓の迫力あるパートや一生懸命太鼓に向かう姿勢にご注目ください。

代表者：山内 剛

久保田真喜／芹澤 加奈／芹澤 里奈／三橋 磨美／竜田奈津美／高森 春香
 勝俣 宏祐／小林 依愛／江口 拓巳／田中 大輔／山内 和紀

2

いわぶちぐみ
岩淵組

東京都

あゆみ
演奏曲：歩



「和太鼓で自分の思いを伝えたい」という気持ちがあり、ろう者太鼓団体の時から長年ご指導していただいている方に背中を押していただいて、2019年に「岩淵組」が設立されました。翌年2020年2月に日本太鼓財団東京都支部20周年和太鼓フェスティバルでデビューし、以後、手話通訳同伴で色々とサポートしていただきながら、東京都支部等のイベント参加により支部加盟団体との交流を深め、演奏活動を続けています。

今回演奏する曲「歩」は和太鼓を楽しく、みんなの心をひとつにして歩んでいこうという気持ちを込めて、チームで作曲しました。

大太鼓1鼓、長胴太鼓3鼓の編成で演奏します。

代表者：岩淵 行雄

小林香菜子／岩淵 恵美／川崎 文恵

3

やまびこ太鼓

福島県

演奏曲：やまびこ囃子 / 和楽



学校の土曜日休日化に伴い、余暇活動の一環として、「岩代國郡山うねめ太鼓保存会」と「片平公民館」の協力により1999年1月に設立されました。親子で活動しているため、親と子が互いに響きあえるように「やまびこ太鼓」と命名されました。

「やまびこ囃子」は、うねめ太鼓の「うねめ囃子」を基にした曲で、出場者たちが個性のある打ち方で左右から1人ずつ登場し、太鼓の音が徐々に大きくなる場所が見所です。

「和楽」は、指導者であるうねめ太鼓の橋本氏による作曲です。太鼓が大好きな子供達のために、みんなで太鼓を楽しめるように名付けられました。前半は出場者全員で太鼓を打ち、後半は左右交互に振りを入れつつ打ち合います。

両曲とも横笛に見立てたオカリナも演奏しますので、ご注目ください。

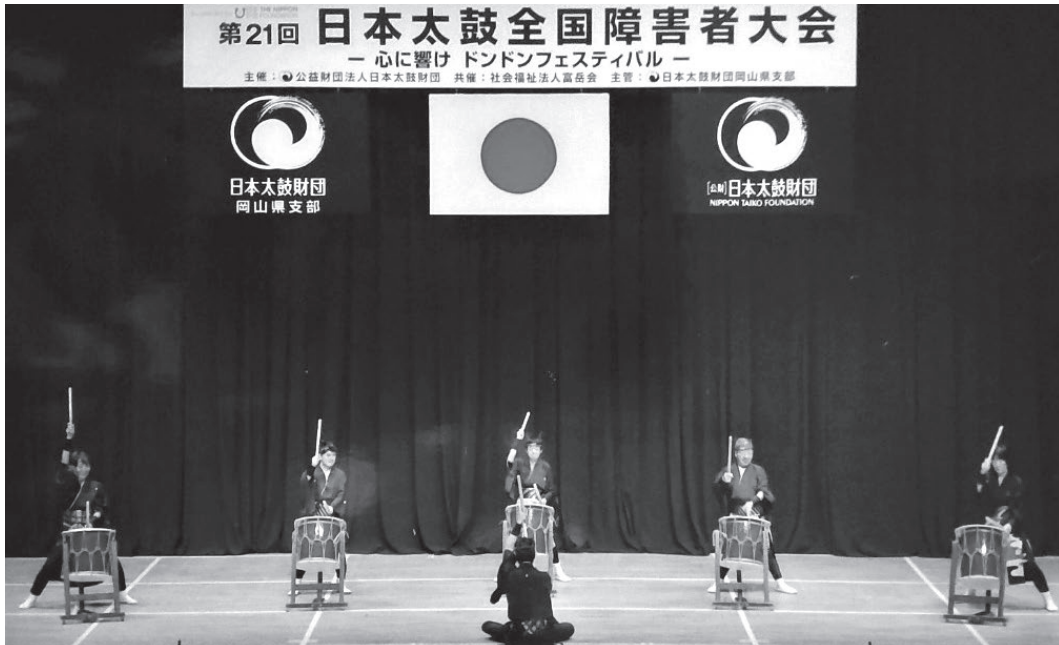
代表者：三瓶 律子

三瓶沙弥香／吉田 輝／吉田 久恵／佐藤日出海／室井亜理沙／室井春美恵
 遠藤 正樹／遠藤トミ子／阿久津陽介／阿久津恵子／佐藤 亮太／佐藤 真弓
 河治 勇志／根本 樹／根本 裕子／武田 悠馬／武田 淳子／後藤 拓士
 後藤 真弓／三田 昌之／三田 幸枝／松崎 妙子／松崎千鶴子／深江 恵子
 石田 洋人／石田奈緒子

4

だい こ き らく
なごみ太鼓喜楽

静岡県

演奏曲：楽彩^{らっさい}

「障害をもっていても太鼓を叩いてみたい!」という小さな願いから2008年に設立されました。新型コロナウイルス感染症対策のために約4年間活動を休止しておりましたが、再開し今年で15年目を迎えました。伊豆市の障害をもった仲間たち、その家族、そして指導・支援頂いている堀江氏とともに活動を続けています。

演奏曲「楽彩^{らっさい}」は出場者それぞれが楽しく「彩-イロ」をだせるような曲です。締太鼓をベースに一人ひとりの「良さ」を出しています。メンバーは少人数ですが、全体で打つフレーズやそれぞれでソロを打つ所もあり、楽しい流れになっています。みんなで一緒に演奏する中、各自が順に自分のリズムを打つ所にご注目ください。

※出場予定だった城所芳子氏は今年7月11日にご逝去されました。追悼の意を込め、立ち位置中央に太鼓を置き一緒に演奏いたします。

代表者：田足井みさ子

堀江 利彰／森野 敦子／森野 和仁／田足井順基／城所 芳子



しゃかいふくしほうじん どうほうふくし かい どうほうだい こ 山口県
社会福祉法人 同朋福祉会 同朋太鼓
しゅんかしゅうとう と も い
 演奏曲：春夏秋冬 - 同朋に生かされて -



山口県美祢市、山口市にかけてともの園ケアグループの仲間たちが、障害を抱える方はもちろん、赤ちゃんから高齢者まで、広く福祉サービスをしています。その一環の音楽療法として活動しています。今年、ハノイから訪れたベトナム人留学生のスタッフがメンバーに加わり新たにスタートしました。

演奏曲は、みんな平等・同朋（はらから）という法人の理念であると同時に障害の有無や国境を越えた繋がりによって生かされ、生きていることへの感謝を込めました。

育み、育まれ命を大切に思う日々に、春の芽吹き、熱く燃える夏、実りの秋、厳しい冬をそれぞれ異なる曲調を繋げて表しています。夏と秋は取りやすいリズムで構成しており、観客の皆様も一緒に盛り上がりお祭りのように楽しめるパートとなっています。

代表者：河内 美舟

加藤 正明／弘永 勝也／内山 一義／グエン・ティ・レ・ハン／島田 貴晃
 利重 俊吏／片岡 悟／安尾 好史／栗光恵美子／先本 理絵／松本 清美

6

わ だ い こ
和太鼓パフォーマンス集団『夢ん鼓』

東京都

びーと
演奏曲：beat

北海道でソロ演奏活動をしていたデフ太鼓パフォーマー TETSUYAが独特なスタイルを追求しようと「夢ん鼓」を2011年に発足しました。2018年より、東京都杉並区を活動拠点に移し、聴覚障害者を中心にオリジナル曲を手掛け、演奏活動を展開しています。

演奏曲「beat」は未来へ新たなる希望と挑戦を胸にテンポ良く、リズムカルにぶつかり合う情熱を醸し出すビートをイメージした曲です。序章がなく、何かの駆け出しでスタートしてリズムカルに掛け合い、いつしかテンポアップしてパッションが吹っ切れた連打をしています。

出場者3名のパートは個性的であり、表現力のある阿吽の呼吸をご覧ください。

代表者：TETSUYA

YUUKI / MIYU

7

いしかわけんりつ めい わ とくべつ し えんがっこう りゅうけんたい こ かい 石川県
石川県立 明和特別支援学校 龍剣太鼓OB会

演奏曲：虫送り太鼓
むしおく たい こ



2009年4月石川県立明和養護学校高等部に和太鼓部が設立。2010年4月石川県立明和養護学校（知的障害）と石川県立養護学校（肢体不自由）が統合され、明和特別支援学校が開校し、和太鼓部「龍剣太鼓」の活動が開始されました。2012年3月に卒業後も和太鼓を続けたいという思いで、2011年度卒業生が中心となり、「龍剣太鼓OB会」が設立され、以後和太鼓部の外部講師である安江信寿氏指導の下、活動を続けています。

「虫送り太鼓」は、地元に残る曲です。締太鼓2鼓で地打ち（ベース）を行い、長胴太鼓チームの個人打ちの後、大桶胴太鼓の個人打ち、最後は全員で揃い打ちをします。長胴太鼓チームが演奏の後半に行うつばめ返し打法（揃い打ち）にご注目ください。

代表者：安江 信寿

若林 美香／林 芳樹／伊藤 祐介／小室 駿／米田 優一／小林 源大
 谷中 天紀／中田麻莉愛

8

とよ なか わ だい こ こ びき
豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」

大阪府

演奏曲：K



豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を打ったことがきっかけで、1992年5月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」が発足しました。1995年3月に音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味を込めて「ひまわり」から「鼓響」に改称しました。

本日演奏する曲は、大阪府豊中市で毎年開催している「豊中和太鼓まつり」に出演している「和太鼓衆団やぶからぼう」の曲で、数年前から同団体と合同演奏しています。

和太鼓の基本リズムをいろいろなパートで組み込まれている楽しい曲で、軽快な表と裏のリズムを男女に分かれて演奏します。皆さまもぜひ手拍子で参加してください。

代表者：宮田千恵子

坂本 善美／藤原 幹男／川口 聖／小川 龍一／高橋 朗子／坂本 豊子



かな や おお い がわかわ ご だい こ はまつ

金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：けんか太鼓^{だいこ}



静岡県島田市より無形民俗文化財に指定されている「金谷大井川川越し太鼓保存会」が指導する知的障害者のチーム「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」に浜松市から参加しているメンバーがいました。浜松でも太鼓を叩きたいという多くの声が挙がり、同保存会の和田光則代表のご指導を得て、2009年5月に設立されました。

今回演奏する曲「けんか太鼓」は、江戸時代の徳川氏対武田氏の戦の時に武士をふるいたたせるための陣太鼓が由来だと言われております。リズム・テンポが良く代表曲となっておりますが、戦を表しているためバラバラに打っているように聞こえます。

各パートが同じ叩き方で叩くところにぜひご注目ください。

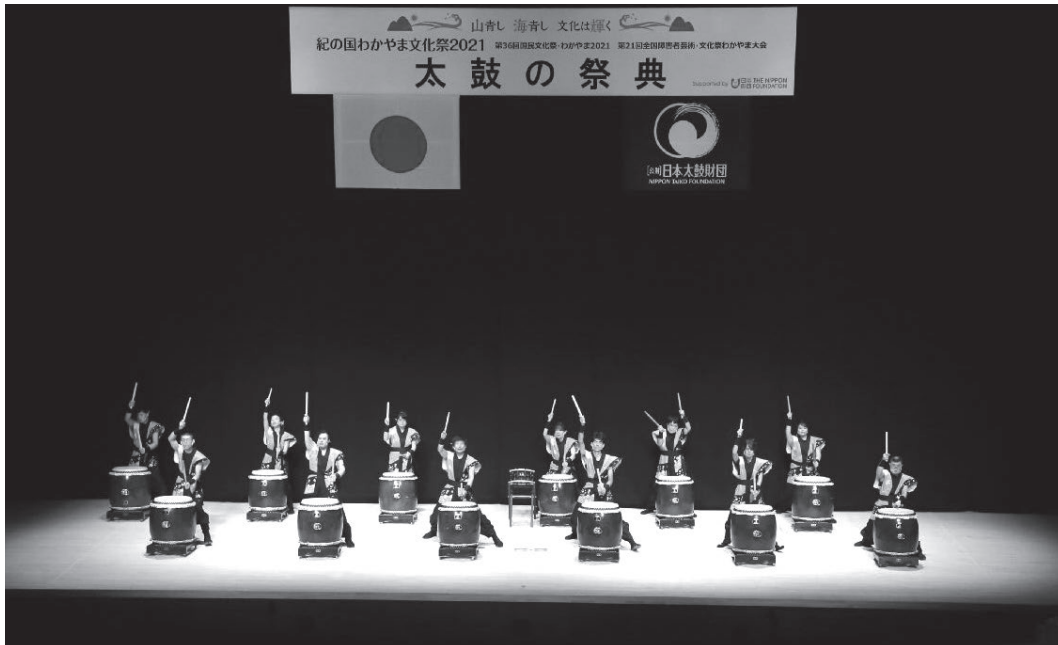
代表者：斎藤 寿見

斎藤 悠希／斎藤 香織／佐藤 佑紀／佐藤千佳代／三原 京子／三原まゆみ
松浦 光／松浦真由美／鷹野 瑛実／和田 光則／塚田 利恵／武田ひろみ
原田慎太郎／小玉恵美子

10

どらむりん
DRUM 輪

和歌山県

びゅういちだ
演奏曲：美勇壺打

きのかわ支援学校卒業生たちの「卒業しても仲間と一緒に和太鼓を続けたい」という願いが実現し、4年前から活動を開始しました。太鼓を通じて豊かな心情を育み、また、支えてくださる方々への感謝の気持ちも大切にしています。

演奏曲は一打一打を大切に、心を込めて打つ曲です。腕やバチの動きはもちろん、身体全体をしっかりと使い、表情や声も意識して、曲名通り「美しく、勇ましく」打つことを目指しています。

曲の始まりは、少しずつ打ち手が増えていく連打から始まり、全員が揃って勇ましく最初のテーマに入ります。途中からは少人数で打つところや、緩やかなリズムも入れ、曲想に応じた表現をすることを意識しています。

代表者：田原 綾子

石井 勝式／中尾 達也／東川 凌土／向井 拓海／今北 吏矩／山畑 項平
高水 陽向／保井 瑞生／山崎 一樹／鎌村 七海／和田 翔太



い ず いりょうふくし

伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓

だいこ

静岡県

演奏曲：潮騒

しおさい



1990年に障害のある子どもたちが入所する施設の夏祭りに、裾野市の五竜太鼓が慰問に来てくれました。その演奏を見た入所児の「ぼくも、たいこやりたい」の一言で活動が始まりました。

「潮騒」は、穏やかな海、にぎやかな海、大きな波、海を渡る風を太鼓で表現し、そこにいる私たちの風景をお届けいたします。2021年に逝去された作調者の村田淳樹氏まで届くよう頑張ります。

会場が広いため、聞きづらいかもかもしれませんが、最初に車いすチームが小さな音で太鼓を打ちます。「私たちもここにいるよ」そんな音を聞いていただけたらと存じます。そして、最後の締太鼓と大太鼓のかけあい、そこから最後のみんなでの一打までご覧いただけますと幸いです。

代表者：渡邊 誠司

小林 悠太／荻田 恭平／荒木真理菜／大澤 奨平／谷口 蓮／小池健太郎
真寫 花鈴／佐賀 翼／渡邊 宏太／玉置 真也／大倉 瑠斗／菅尾 勇治
石井 鉄兵／江本 晴翔

12

にい がた ばん だい だい こ ほう りゅう かい 新潟県
新潟ろうあ万代太鼓豊龍会

にい が た じ ん く と も え う ばん だい
 演奏曲：新潟甚句巴打ち / 万代おけさオリジナル



「耳が聞こえなくても和太鼓はできる」私たち、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会は、1981年に創設しました。太鼓は打った時の響きを体で感じます。耳が聞こえなくても楽しめる唯一の音楽です。音楽好き仲間づくりと文化活動推進のため色々な活動を行っています。

1曲目「新潟甚句巴打ち」は、新潟を代表する民謡「新潟甚句」をテーマにした曲です。新潟市の象徴である雪と波、そして躍進する新潟市の気概を高らかに打ち上げます。

2曲目「万代おけさオリジナル」は、新潟より日本海を臨むと水平線に横たわる佐渡島をモチーフとした「佐渡おけさ」のメロディーにのせて佐渡島に想いを馳せ、速いテンポで日本海の荒波を表現しています。

代表者：家坂 光雄

佐藤 健一／木戸 和史／山岸 弘和／吉村 銀平／渡辺 伸也／野口 智子

渋谷 瑞江

13

じょうらくざ
縄樂座

千葉県

演奏曲：風^{るん}

2003年に千葉県香取市にて発足し、お正月の獅子舞門付け、施設慰問、子ども教室等、和太鼓・神楽・獅子舞を通して活動していました。2008年より文化と福祉プロジェクトとして、難病・認知症・小児癌・障害児等をテーマにした活動にも力を注ぎ、2011年の東日本大震災で被災した地元や東北へも積極的に文化交流支援を行いました。これからも、技と精神を学び、伝統芸能の魅力伝えていきたいと考えております。

演奏曲「風^{るん}」は、抱え太鼓だけの演奏スタイルに、縄樂座の獅子舞曲を合体させて、障害者大会参加のためにアレンジを加えております。中盤に獅子舞の見所がありますのでご注目ください。

代表者：松井 敏昭

星野 豊和	吉野 まゆ	吉野美智子	溝口 季	溝口 敦子	林 駿樹
林 純子	青柳 泰介	葉木 佑佳	曳地 君子	高木美知子	佐藤 結衣
木内 心陽	府馬 拓海	府馬ゆうと	土屋 温紫	土屋 紫稀	土屋 紫遊
小川 英明	大屋 千鶴				

14

おおいたけんしゃかいふくし じぎょうだんおおいたけんいとぐちがくえん
大分県社会福祉事業団大分県糸口学園

大分県

演奏曲：風響ふうきょう

大分県宇佐市にある大分県社会福祉事業団「大分県糸口学園」の利用児童で結成した和太鼓チームで、1994年に発足され今年で29周年目を迎えました。各児童の特性を伸ばす支援の一環として、「伸びる芽を育てよう」を合言葉に、文化活動としての和太鼓演奏のほかにスポーツ活動として陸上競技に取り組んでいます。多くの方からの応援を受けることがメンバーの自信につながっています。

演奏曲「風響」は、風の力強さを表現する曲で、台風や竜巻などの強風をイメージして太鼓の音を激しく打ち鳴らします。強く激しくも新しい風が吹く様を表し、風が自然を動かす力を表現できるように太鼓を響かせます。

出場者8名

15

ファミリーユニット ^{どっこ}童鼓

岐阜県

演奏曲：^{てん}TEN

1994年10月、高知県光の村養護学校の黒潮太鼓を見て、今までに経験したことの無い驚きと感動を覚えました。その感動は、私たち子どもたちにも太鼓を打たせてやりたいという思いになり1996年9月に結成しました。

本日の演奏曲は、太鼓を始めてから10年が過ぎたころに基礎打ち部分を元に作りました。結成10年目に作曲したため「TEN」と命名しました。曲を優雅にそして楽しんで打てるように、少しずつ進化させています。チームの成長に重ね合わせるかのように曲の終盤は躍動しています。

3パートを順番に打つハーモニーの展開がありますので、ぜひお聞きください。

代表者：児島 和夫

奥村 千鶴／奥村 杏里／高橋 貴子／高橋 秀徳／児島 秀美／児島 康寛
 中島 幸子／中島 寛文／渡邊 朋子／渡邊 史浩／高木 彩花／川口 舞
 川口 清美

16

じょうしゅう だい こ しん きょう
 上州ろう太鼓・心響

群馬県

きょうら
 演奏曲：響楽



2001年に結成し、群馬県太田市を拠点とする聴覚障がい者をメインとした太鼓チームです。「心響」には「響き合う心と心」という意味が込められています。会員は聴覚障がい者が4名、健聴者が4名在籍しており、福祉団体などの各種行事、地域や企業の祭りなど、いろいろな所で演奏や講演をしています。

本日演奏する曲は「楽しく叩こう、その響きを伝えよう」と「楽」と「響」を取って「響楽」と名付けました。「聞こえなくても聞きにくくても音や響きは感じる。だから楽しい。色々なリズムやテンポを楽しみたい、その響きをみんなに伝えたい」という思いを込めています。

見所は、前半は心躍るテンポに羽ばたくような振りを舞う所、後半はスピード感のある力強いテンポに、素早く流れるようなバチさばきです。

代表者：小沢美保代

守屋 知彦／廣田貴美子／小森谷志乃婦／岡田 一美／岡田紫陽花

17

とくしまけんりつこくふしえんがっこうわだいきこぶ 徳島県
徳島県立国府支援学校 和太鼓部

ごにん あわりゅうこう
 演奏曲：御忍・阿波流光のぞめき



1998年に結成以来、今年で創部25年目を迎えました。部員たちは国府支援学校高等部に入学してから和太鼓に初めて触れるものがほとんどですが、障がいを乗り越え、人に喜ばれる演奏を目指して日々の練習を重ねています。

本日演奏する曲は兵庫県にある和太鼓教育研究所の吉田拓也氏に作曲を依頼し、15年間打ち込み続けているオリジナル曲に文理大学和太鼓部「億」との交流で教えてもらった「御忍」をアレンジして加えた曲です。吉野川の激しく厳しい流れ。船を転覆させるほどの渦潮の流れ。先祖たちの文化に対する誇り。そして阿波徳島に受け継がれる阿波踊りの流れ。これらの自然・文化・人の流れを組み太鼓の中に織り混ぜ表現をしています。

代表者：世戸 直樹

鎌田 真美／武田 悠河／七條明日香／中村 愛美／川田 紘輝／長尾 瑛介
 小原 堅支／辻 大和／洲崎 賢真／齋藤 祐心／小橋 力斗／小縣龍ノ介
 岩本 大／貝川 健一／松下 侑斗／枝澤 優貴／溝口 晃琉

18

か い の わ だ い こ しん きょう かい
甲斐乃和太鼓 心響会

山梨県

いさみごま
 演奏曲：勇駒



2015年設立の団体で、障害者が和太鼓を通じて積極的に社会参加を促すこと、和太鼓の振動を利用したリハビリテーション効果を期待して始めました。健常者と障害者が協力し、和を大切に活動しています。

演奏曲「勇駒」は、平安時代京の都の公家たちは競って全国に荘園を持ちました。その中の牧で多くの馬が育てられました。やがて京の都へ送り出されるときに、大事に育てた馬の活躍と、健康を願いながら笛や太鼓を打ち鳴らしながら別れを惜しんだ様子を表していると小口大八氏より伺いました。

母馬から生まればかりの仔馬、成長するにつれて逞しく元気に牧場を所狭しと駆け回る様子をスローテンポからアップテンポに変化させて表現しております。

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／斉藤 里恵／斉藤三輝成／狐塚 亮／山地 隆公／遠藤 大成
 神田 弘樹

19

かな や おお い がわかわ ご だい こ

金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：つぼみ



和田光則代表の知り合いの子供が障害を持っており、太鼓を教えたことがきっかけで1998年に設立しました。

本日の演奏曲「つぼみ」は、メンバーの子供たちが一生懸命に太鼓を叩いている姿をみて作曲をしたことのない代表が作りました。今まで子供たちと一緒に太鼓をやっていくことができた過程をモチーフにしています。芽が出て、少しずつ膨らむつぼみを表現しており、どんな花になるかを思い浮かべながら演奏しています。最初に1人ずつ順番で個性のあるトレモロを打ち、次に締太鼓の小さな音色から始まり、だんだん大きな音になります。成長する姿を重ねた曲調としてお聞きください。

代表者：和田 光則

池久保 葵／岩堀 巧誠／酒井 勝則／酒井 光枝／山内 大佑／増田 和馬
園田 康貴／原田慎太郎／森本 絵里／岡崎真知子／斎藤 悠希／塚田 利恵
小玉恵美子／武田ひろみ

20

え な だい こ
 恵那のまつり 太鼓

岐阜県

演奏曲：鼓楽つづら

1989年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓で太鼓を学んだところからはじまり、1990年結成、今年で33年目を迎えます。現在は障がい者支援施設のスタッフ・利用者の21名で活動しています。

毎週1回仕事終わりに集まって太鼓を楽しんでいます。限られた時間のなかでの練習は大変ですが、「一生懸命打つこと」、「楽しんで打つこと」、「地域への恩返し」を心がけ、やりがいを持って頑張っています。

演奏する曲は岐阜県太鼓連盟会長の和田正人氏作曲「鼓楽」で、打ち込みやすいようにアレンジしました。様々な太鼓で構成され、パートごとにソロがあることが特徴です。順番にメロディが移っていき、各パートが合わさりながら段々と力強くなっていくラストにご注目ください。

代表者：小坂 孫次

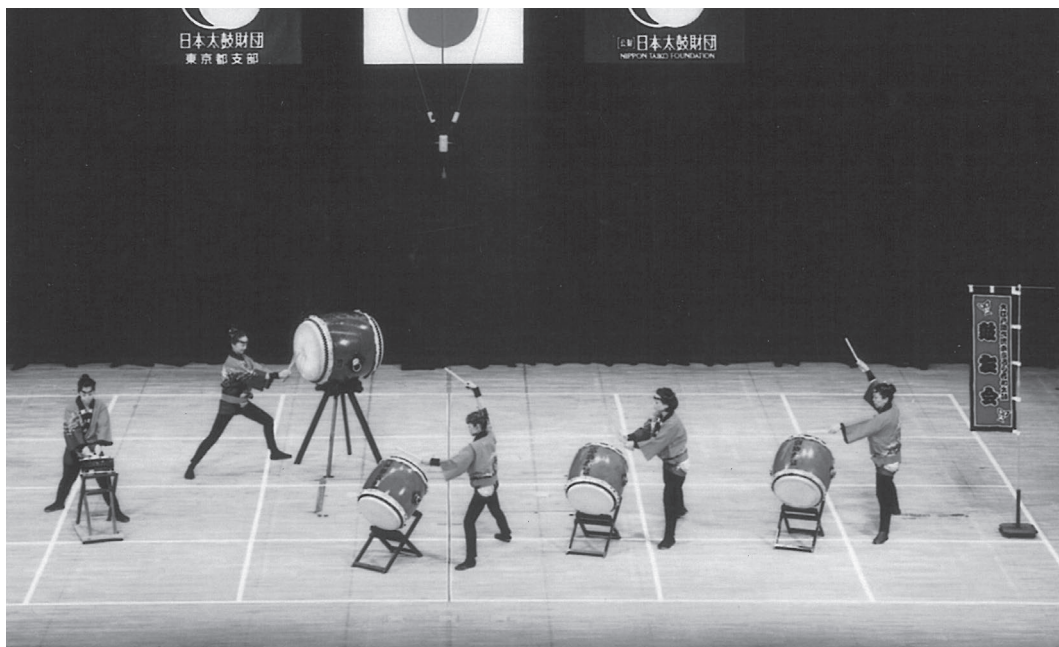
安藤 恵一／安藤 利夫／伊佐地 工／井口 恵一／大黒 純也／伊東 鉄也
 伊藤 佳央／後藤 健治／武川 勝則／田中 里美／長尾 和子／春田 信也
 古田 浩史／吉村 健／酒井 薫／八澤 正弘／外山 和紀／坂本 竜一
 山内 成倫／西尾美乃里

21

おおえ どのすけろくりゅう とうきょう しゃ わだいこくらぶ こゆうかい
 大江戸助六流 東京ろう者 和太鼓倶楽部「鼓友会」

東京都

しゅんらい しらうめ まつり
 演奏曲：春雷 / 白梅 / 祭



1983年、日本チャリティ協会より社団法人東京都聴覚障害者連盟に和太鼓演奏の話が持ち込まれたことをきっかけに「社団法人 東京都聴覚障害者連盟文化部／東京ろう者和太鼓倶楽部」が発足しました。1984年大江戸助六太鼓に入門し、同年8月、聴覚障害者の組として「太鼓は心で聴いて、心で打て」と宗家小林正道氏より、大江戸助六流「鼓心会」と名を授かり、後に「鼓友会」と改名しました。

本日の3曲は1968年設立の助六太鼓初代メンバーによる古典的作品です。「春雷」は、歌舞伎で用いられる打法を駆使し天空を引き裂く稲妻、大地を揺るがす轟きを表現します。「白梅」は、湯島天神の白梅・紅梅が厳かに咲く様子を間と心意気で演じます。「祭」は齒切れのよいバチ捌きで下町情緒の祭を表します。

代表者：加藤智差子

井手 聖子／杉山まりこ／秋野眞由美／高田 利恵

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年7月25日（日） 場所：静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ（静岡県静岡市）
出場団体：13団体 観客数：1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年6月17日（土） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：14団体 観客数：1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年1月20日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：19団体 観客数：1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年9月22日（日） 場所：恵那文化センター（岐阜県恵那市）
出場団体：17団体 観客数：1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年9月6日（土） 場所：青山劇場（東京都渋谷区）
出場団体：18団体 観客数：1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月3日（土） 場所：諏訪市文化センター（長野県諏訪市）
出場団体：21団体 観客数：1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日（日） 場所：ギャラリーかめおか（京都府亀岡市）
出場団体：22団体 観客数：1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年9月10日（日） 場所：郡山市民文化センター（福島県郡山市）
出場団体：19団体 観客数：2,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月7日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：25団体 観客数：1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月5日（日） 場所：文京シビックセンター（東京都文京区）
出場団体：26団体 観客数：1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
出場団体：24団体 観客数：800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日（日） 場所：フィットネスハウス・アリーナ（千葉県成田市）
出場団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日（日） 場所：郷の音ホール（兵庫県三田市）

出場団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出場団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）

出場団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日（日） 場所：大東市立総合文化センター（大阪府大東市）

出場団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）

出場団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日（日） 場所：大垣市民会館（岐阜県大垣市）

出場団体：27団体 観客数：800名

第19回日本太鼓全国障害者大会

日時：2017年10月1日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出場団体：27団体 観客数：1,000名

第20回日本太鼓全国障害者大会

日時：2018年10月7日（日） 場所：文京シビックホール 大ホール（東京都文京区）

出場団体：30団体 観客数：900名

第21回日本太鼓全国障害者大会

日時：2019年10月6日（日） 場所：倉敷市玉島文化センター（岡山県倉敷市）

出場団体：29団体 観客数：800名

第22回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

第23回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

第24回日本太鼓全国障害者大会

日時：2022年10月23日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出場団体：18団体 観客数：450名

2023年度の主な事業活動予定

■日本太鼓ジャンボリー 2023（終了）

期 日：2023年5月27日（土）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

■第8回大学太鼓フェスティバル（終了）

期 日：2023年8月25日（金）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
共 催：大学太鼓連盟
出演団体：12団体

■第38回国民文化祭

第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」

期 日：2023年10月15日（日）
場 所：金沢歌劇座（石川県金沢市）
主 催：文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、
いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、
公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団石川県支部、公益社団法人 石川県太鼓連盟
出演団体：38団体

■第20回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2023年11月19日（日）
場 所：輪島市文化会館（石川県輪島市）
主 催：2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、
公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：35組

■第26回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2024年3月24日（日）
場 所：大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団埼玉県支部
出場団体：50団体程度

■日本太鼓技術普及事業（日本太鼓講習会&資格認定事業）

日本太鼓全国講習会
第70回日本太鼓全国講習会 2023年8月26日（土）・27日（日） 福島県須賀川市（終了）
第71回日本太鼓全国講習会 2024年2月24日（土）・25日（日） 熊本県宇城市

公益財団法人 日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3 億円

<加盟支部数> 46支部 (42都道府県)

<加盟団体数> 約670団体

<会 員 総 数> 約18,000人

<役 員>

会 長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
理 事 長	大澤 和彦	常 勤
副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
常務理事	佐々城 清	常 勤
理 事	浅野 昭利	(一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理 事	石井 幹子	(株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事	中西 由郎	元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
理 事	山内 強嗣	(福) 富岳会理事長

<評 議 員 >

評 議 員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評 議 員	岡田 知之	元 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員	佐藤 淳子	元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員	高島 肇久	(学) 津田塾大学理事
評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監 事> 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

(五十音順・敬称略)



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-2
日本財団第二ビル 6 階

Toranomon 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan

Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : info@nippon-taiko.or.jp